

# TOUCH 通信

第14号

## NPO法人 自閉症くらし応援舎 TOUCH

2012年 初夏号

2012年 5月 10日発行

### 目次

TOUCHの活動紹介	P 1
共同募金	P 1
PLTだより	P 2 ~ 3
スマイルポッケの毎日	P 4
スマイルポッケの新製品	P 5
書籍紹介	P 5
教授の徒然	P 6 ~ 7
ご近所 散策	P 8

TOUCHは、自閉症や発達に障がいのある方やその家族の方が地域で幸せに暮らせるために、お手伝いをしたいと福岡市東区箱崎で活動しています。

また、平成22年4月から事業の1つ地域活動支援センタースマイルポッケとして、卒業後の就労、活動の場として、障がいのある方の支援をしております。

自閉症支援に興味のある学生さんやボランティアさんも大歓迎です。

お気軽にお立ち寄りください。

## TOUCH(タッチ)の活動をご紹介します

【療育事業】 PLT教室・・・発達検査と評価・個別療育指導教室

【地域支援事業】 地域活動支援センター スマイルポッケ・・・特性に応じた支援通所施設

【個別相談事業】 障がいに関する個別相談

【発達障害の理解促進に関する事業】 学習会・懇談会

【障害者の家族に対する支援事業】 きょうだい児サークル「すてっぷ」との連携など

人材育成・・・実習及び研修生の受け入れ

正会員・・・年会費4,000円 [情報交換・ピアカウンセリングが目的のMLがございます]

賛助会員・・・年会費：個人2,000円 [何口でも可]、団体10,000円 [何口でも可]

ご希望の方にはメールにて情報配信サービスがございます

相談(初回相談は無料)・利用料はホームページに掲載中です。

詳細・ご予約は、お電話にてお問い合わせください。

### 発行元

NPO法人  
自閉症くらし応援舎  
TOUCH 広報部  
福岡市東区箱崎1-19-9  
優箱崎ビル1F2号  
Tel & Fax(092)632-8150

### HP

<http://www.npotouch.jp/>  
E-mail  
[npotouch@ybb.ne.jp](mailto:npotouch@ybb.ne.jp)

地域活動支援センター  
スマイルポッケ



## 平成23年度 赤い羽根共同募金により、 軽ワゴン車をいただきました。

平成23年度 赤い羽根共同募金より、軽ワゴン車をいただきました。地域活動支援センタースマイルポッケでは、委託作業の材料搬入や納品等に今までは、職員の車で行っていましたが、便利な軽ワゴン車をいただき、スムーズに出し入れできるようになりました

### 皆、喜んでいます

また、利用者の皆さんの移動も安心で、今までより活動が広がります

### ありがとうございました



## 学習会・懇談会

気軽に集い情報交換もできる学習会、懇親会を、予定しております。

日時・内容は決まりたいHPへ掲載いたします。またはお電話でお問い合わせください。

## PLT教室だより



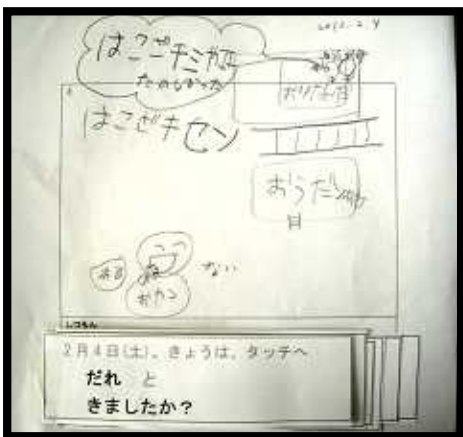
今回は、A君の課題についてご紹介します。  
 年度の初めに保護者と支援者で、療育で取り組む目標を決めます。  
 A君は、やりとりや感情についての目標がありました。

数年前までは、興味のある課題と、そうでない課題の取り組みの姿勢に大きな差がありました。組立課題やイラスト等を取り入れた課題には、とても興味を持ち積極的に行います。しかし、文字の多い課題になると、見るだけで拒否を示していました。とても苦手意識があるようです。絵や色に関心を示すことが多く、苦手な文章の中に、積極的にそれらを取り入れるようにしていきました(文章理解を助けるため)。そうすると、徐々に苦手意識は減っていき、現在では取り組みが随分良くなってきました。

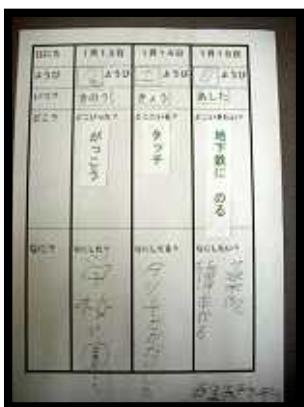
最近の課題の様子です。



下の表の左の文章を読んで、右の疑問詞に当てはまる答えを選びます。文章は、文節毎に区切ってマジックテープで付けています。操作性を加えることで、取り組みやすくなりました。疑問詞は、まだ学習段階にあるので、上の表を見ながら当てはまるものを選んでいきます。

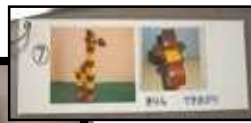


記憶が鮮明な直前の出来事を質問しています。大好きな電車で来られていることもあり、「何で来たか」「誰と来たか」「何を見たか」等、意欲的に質問に絵と言葉で伝えてくれます。また、質問がいくつあるのか、すぐに分かるように質問用紙を少しずつ提示しています。最初から全ての質問を見てしまうと、文字がたくさんで、見るだけで嫌になってしまいます。



物事を順追って整理するため、日にちと出来事を照らし合わせて想起していきました。A君にとって、「どこ」という質問(場所)が一番想起しやすいため、一番に聞くようにしました。それから、「なに」をしたか聞くと、学校で遊んだこと、タッチで課題をしたこと等を教えてくれました。また、明日したいことについても宙を見て考え、答える姿も見られ始めました。今後、過去に起こったことや、これからしたいこと等を整理し、表現することができると、今抱えているご本人のストレスも軽減されるのではと思います。





課題の途中に、本人が得意とする組立課題等を入れて、少し気分をリフレッシュしています。



絵を用いて、人とのやりとりを客観的に学びます。絵の中の相手のセリフを見てどう答えるか、何もヒントなしではとてもストレスがかかります。そのため、選択肢の中から選ぶようにしています。そうすることで、ストレスを減らすことができ、「わかった！！」という達成感もかなり違うようです。



これは、本人がどのように物事をとらえているか、とても参考になる課題です。  
これも選択肢(4つ程度)の中から選びます。  
A君の中で、ほめられて「あんしん」、静かな部屋は「うれしい」、犬が吠えて「いたい」というのは、なるほどと思わせる答えでした。  
A君は、とても聴覚の過敏なお子さんで、嫌な音は「うるさい」というよりも、「耳が痛い」という感覚に近いのかもしれません。  
  
\* 選択の種類は、支援者が本人の傾向を知った上で、色々な可能性を考慮して選択肢を挙げています。



ご本人の状況にあわせて、課題を進めたり、戻ったり、気分転換してみたりと変えていきますが、それでも学習の積み重ねが感じられ、私たちも大変嬉しく思います。  
成長するにつれて、新たな課題が見つかることもありますが、それと同時に、得意とするところも継続して取り組んでいけたらと思っています。

### =保護者から =

我が家の長男Yは9才。福岡市内特別支援学級在籍の4年生です。『典型』の定義はそれぞれですが、典型的な自閉っ子です。感覚の過敏さが顕著で、毎日の生活を安心して過ごすことがとても困難です。タッチとの出会いから約4年間『自閉症』について多くのことを教えて頂きました。タッチとの出会いがなければ真に我が子を理解することはなかったらと思うます。

この4年間に学んで日々取り組んでいることをご紹介します。  
感情的に叱らない。 行動の記録をとる。 行動の分析 予告をする。 変更するときは必ず次を伝える。  
どんな小さな約束も守る 声かけは最小限に。 本人に選択させ、本人の本当に望んでいることを知る。

他にも色々ありますが、以上の事を実践して、本人にとって安心できる人、信頼される人になることができたのかなと思います。うまいかない時は「私だって人間だ」と声にだして言うようにしています。イライラした口調や態度には大変敏感で、「いらつかんよ～」と他者の感情を読み取って、立派に表出しています。親子ならではのこういったやりとりがもっと増えていくことを夢みて、Yにとっての信頼する人間であり続けたいと思います。



## スマイルポッケの毎日



箱詰め



シャボン玉パッキング

### 【新たな作業】

スマイルポッケも大きな変化がありました。まず利用者が増えたこと。数名の方が新しく利用されることになり、部屋の構造化も少し変わりました。お互い意識されていることと思いますが、特に変わりなく過ごすことができ一歩前進しました。

そして、新しい作業が始まったこと。以前に比べ受託作業が増えました。現在3つの仕事を請けていますが、それぞれ違った内容のため、作業が偏ることなく進められるのではないかと思います。特に、ポスティングの作業は外に出ることで利用者への気分転換・運動不足の解消と別の面での効果も期待されます。



チラシ折込



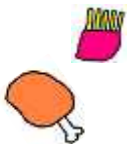
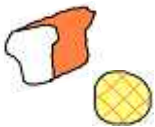
ポスティング



### 【余暇活動】

余暇活動でパン屋さんやファーストフード店へ行きました。繰り返して行くうちに顔馴染みになり、店員さんもちょうど合わせたペースで対応して下さいます。いつものパン屋さんで安心する方、選択でパンを決めることで食べるパンの種類に広がり方ができた方...色々な面が少しずつですが出てきています。『品物を買う』という一つの行動ですがその中に含まれる要素は様々です。

買い物の経験・品物の選択・お金の計算・順番を守って買うなど...。楽しみながら何か一つ経験し更にそれが積み重なっていくように支援していこうと考えます。

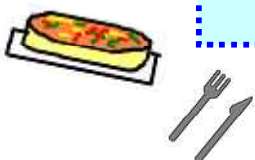


### 【土曜日】

土曜日はなぜか雨にあたられます。カラオケに行ったときも雨(それも暴風雨)、パークゴルフも2回延期になりました。外での活動のときは照る照る坊主が必要なようでしたが、お花見の時は、快晴でした。土曜日にも新しいメンバーが入ってきました。シャイな方で、フリーな時間は一人で過ごされますが、みんなとの活動では積極的です。いい笑顔で巻き寿司やカレーやピザを作ってくれました。



ピザ作り



お花見

## スマイルポッケの新製品

### 【コットンフラワー】



大1本入 ¥100  
小2本入 ¥100

ギンガムチェック、ドット柄の可愛い木綿で作ったお花です。



アレンジ  
¥500

### 【ピースマグネット】



大1個入 ¥100 小2個入 ¥100  
消防車、バトカー。お花、フルーツ等ポップで可愛いマグネットです

### 【ピースクリップ】



可愛いお花が付いたクリップ  
3個入り  
¥100

### 【のし袋】



お祝い、お礼に！  
金・銀箔をちりばめた「もみ和紙」に鮮やかな友禅和紙でアクセントを付けたのし袋

18x9.5cm  
¥150

### 【パッケージとして】



スマイルポッケのポチ袋と同じデザインで手ぬぐいパッケージにしてみました  
20x13cm

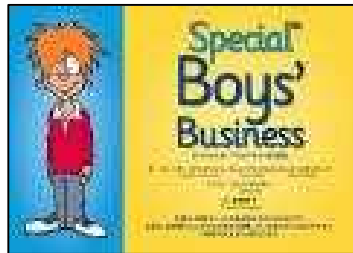
ご希望の大きさ、デザインで作成いたします。

¥150～

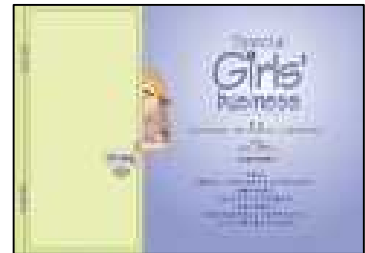
## 書籍のご紹介



発達障害のいま  
著者 杉山登志郎  
講談社現代新書  
価格：798円



スペシャルボーイズビジネス  
日本語版  
著者：フェイ・アンジェロ  
ヘザー・アンダンソン  
ローズ・ステュアート  
訳 服巻智子  
価格：3,150円



スペシャルガールズビジネス  
日本語版  
著者：フェイ・アンジェロ  
ヘザー・アンダンソン  
ローズ・ステュアート  
訳 服巻智子  
価格：2,625円



ペアレントトレーニング  
実践ガイドブック  
著者：福田恭介  
あいり出版  
価格：2,730円



わが子が発達障害と診断されたら  
発達障害のある子を育てる楽しみを見つかるまで  
著者：佐々木正美、諏訪利明  
日戸由刈  
すばる舎 価格：1,470円

## 教授の徒然



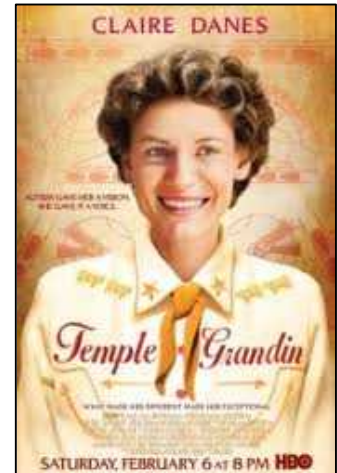
### 映画「テンブル・グランディン」を観て

西南学院大学 井上哲雄 教授

昨年の夏頃、TEACCH研究会の仲間から、テンブル・グランディンの映画ができていて、動画サイトで見る事ができるとメールで知らせてもらいました。

アメリカでテレビ映画として2010年に製作され、ゴールデングローブ賞やエミー賞などの栄冠に輝いたということで、話題になっていたのです。

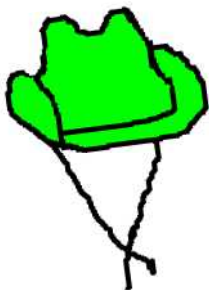
早速PCのインターネット上の動画サイトで英語版を観て、よくできた面白い作品だと感心したのですが、今年の3月になにげなく観ていたケーブルテレビの女性のためのエンターテインメント・チャンネルLaLaTVで、字幕付きで放映されていたので、しっかり録画して何度も鑑賞しました。HBOというアメリカのテレビ局の製作で、クレア・デインズという俳優がテンブル・グランディンの役を、まるで本物の自閉症の人としか思えないほど真に迫った演技で演じていて、賞を獲得したこともうなずけるすばらしさでした。ぜひ多くの人に見てもらって、正しい自閉症の理解を深めてもらいたいものです。



テンブル・グランディンが「自分は、visual thinker(見て考える人)である。」と述べているように、自閉症の人たちは言葉で抽象的に考えるより、目で見えるような視覚的なイメージ、絵で考えるということが得意なのですが、このテレビ映画「テンブル・グランディン」では、自閉症の人の感じ方、感覚過敏など、定型発達の人にはピンと来にくい経験が、そのまま画面上に具体的な映像で示されていて、自閉症の人の感じる世界、見る世界をわかりやすく示し、理解できる感動的な映画に仕上がっています。例えば、「奇跡」という言葉を聞くと、彼女が浮かべた「イエスが湖の水面上を歩いていく姿」(聖書に出てくる奇跡)が映像で挿入されます。また新しい世界に歩みだす場面、例えば大学生活を始める、畜産業者のところに家畜舎の売り込みに飛び込んでいくなどの場面では、不安で立ち止まりそうになるのですが、具体的な映像で、そこに扉が出現し、彼女はその「扉」を自ら開けて入っていくイメージを浮かべて、自分を鼓舞し勇気づけてつき進んでいくという絵になっています。

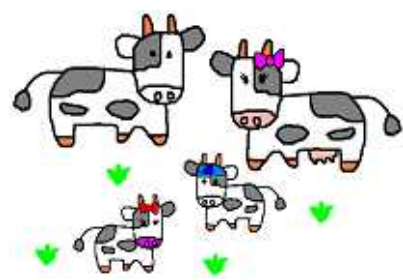
心理学で有名なエイムズの歪んだ部屋(右に立てば大男になり、左に立てば小人になるように見える錯覚を利用した不思議な部屋で、寄宿舎高校での恩師カーロック先生からその仕組みを解明する課題を与えられ、テンブルは見事それを解いて、自力でその模型を作るのに成功した)から映画は始まり、その不思議な部屋のドアを出ると、それは飛行機のドアになっていて、東部から初めて南部のアリゾナに到着したテンブルは、飛行機から降りようとして、すぐそばで回転している大きなプロペラが(自分を切り裂きそうで)怖くてたじろぎ、また燃えるような灼熱の空港に、実際の炎で焼き尽くされている風景を(心の中に)“見て”しまうのです。「こんな灼熱の大地に人が住めるのか?」と、地元の人が聞くととても腹を立てるようなコメントを思わず漏らしてしまうのです。迎えにきたお母さんの姉のアンおばさんには、車中で好きな「ナポレオン・ソロ」(私個人にとっては懐かしい1960~70年代のアメリカの軽妙なスパイドラマ)を観て覚えたお気に入りの台詞「ゲートを開けるの?」を思い出しながら、唐突に何度も繰り返すのでした。(場面に関係ない遅延性反響言語の一例です。)そのアンおばさんの牧場の入り口の木製のゲートを車で通過するときに「ゲートを開けて」と実際にその台詞で頼まれ、彼女は下車して開けながら、なんとかしてこれを自動ドアにできないかと思ったのでした。その夏休みをアンおばさんの牧場で暮らすうちに、自分で設計図を書いてあれこれ工夫しながら、滑車などを使い、紐を引けば自動的に開いて、40数秒経つと自動的にしまるゲートの開閉装置を作ってしまう。こうしたエピソードにも、独創的な発明家の才能が見られます。

また牧場に到着してすぐ、予防ワクチンを注射される牛が、直前まで落ち着かず騒いでいたのに牛の締め付け機に入れられると、すぐにおとなしく静かになることを観て、混乱してパニック状態になってしまったとき、テンブル自身もその中に入って、体を締め付けてもらうことが、落ち着くのに役に立つ方法であるのに気づき、それを実際に体験し、はまってしまう。後に大学の寮に入ったとき、自分用に締め付け機を製作することになります。このアンおばさんの牧場での生活や体験は、なかなか人々の考えを理解できないことに悩み、新たな人間関係に入ることを戸惑い、大学生活が不安になっていたテンブルにとって、牛たちとふれ合い、人間の為に飼われ殺されていく動物のための心理学に取り組むきっかけとなったのでした。



大学での寮生活は、2人部屋でしたが、最初のルームメイトは、締め付け機を見て大騒ぎして、テンブルを「変人」扱いして、早々に別の部屋にかわって行ってしまいます。次に同室になった学生は、目が不自由な学生で、お互いにハンディは持っていますが、かえってテンブルとはうまくやっていけ親友となりました。寮では、締め付け機は妙なガラクタとしてゴミ捨てに捨てられてしまったりして、この機械がテンブルにとって落ち着きを取り戻すためにどれだけなくてはならない必需品であるのかということは、なかなか理解されないままでした。(実際お母さんもこの機械については否定的でしたが、アンおばさんだけが良き理解者で応援してくれました。)そこで、テンブルは寮の女学生たちに被験者になってもらい、締め付け機を使っての実験をして、普通の人たちがどんな感じをもつかを、椅子に座っている状態と比較対照して、「落ち着くか、嫌な感じか、普通でそう変わらないか」などの選択肢を用意した調査法でデータを集めて、実証して寮の舎監の先生をも説得するのでした。彼女にとっては、そうした実験を計画し、データを収集し、リサーチをすることは得意なことで、夢中になって没頭し楽しむことでした。(これが研究者として、成功するためには大切な資質です。)

大学院に入って、動物心理学を専攻し、テンブル・グランディンは、自閉症であったからこそ、動物(主に牛などの家畜)の視点に立ち、地べたに這いつくばって四つ足で動き回ったりして、牛そのものになりきって、牛舎や環境を見回し、牛たちの鳴き声や、走り方を正確に観察して、動物が不安を持たず、人間の食料になるために屠殺されるまで、せめても平安で幸せに暮らせるようにと、牛舎やスローターハウス(屠殺場)を研究し設計していきました。

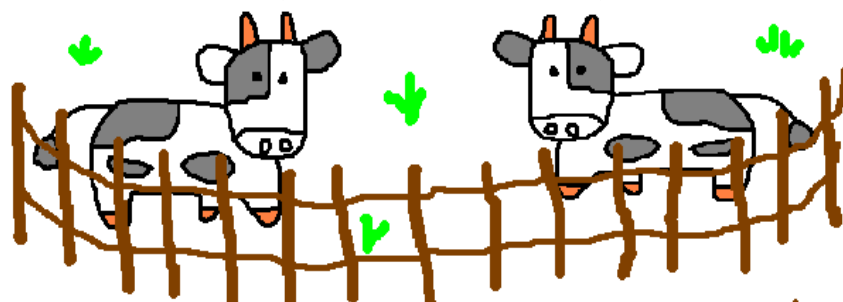


最初にジョン・ウェインの経営するレッドリヴァー牧場に売り込んで採用されて、以後設計家・実業家として大成功をおさめ、また大学で動物心理学を教える教授にもなっています。

それまでには、牧場というカウボーイだけの男の聖域に、女ながらに果敢に乗り込んで、いろいろな差別やいじめに遭いながら、決してくじけず諦めず研究を続け、自分の研究成果を専門の雑誌に投稿し、いろいろな手を使って売り込んでいく事業家としての積極的な活躍が映画の後半では展開していきます。

自閉症のままで、自分のあるがままを受け入れ、そして自分の長所を發揮しながら、苦手な弱いところは自分なりに工夫してカバーしながら生活していくたくましさには、深く感動させられます。最初の著書には車に乗って教会に行っているとき、無理矢理帽子をかぶせられて、頭を締め付ける帽子の感触がいやで、走る車から逃げ出そうとして大騒ぎになったといったエピソードが書いてありました。また寮に入って、学生たちのわいわい、がやがや騒ぐ音や、下手な楽器の練習に耐えきれなくなる場面や、店の自動ドアの開閉のときにギロチンが落ちてくるイメージが現れてきて恐怖のため身動きが取れなくなって、知らないおばさんの後から付いて入ったりして、やっと自動ドアを通過できた場面、パーティの社交的会話に入らず、ぎこちなく、気を使いすぎ、疲れ果ててかんしゃくを起こしたりする場面などから、自閉症の人の感覚的な過敏性や感性から由来する人間社会での生きづらさが、定型発達の人々の想像を遥かに超えたものであることが、非常にわかりやすく描かれていました。

全編を通して、最も強く印象に残ったのは、寄宿舎高校での恩師カーロック先生の言葉で、テンブルの様な自閉症の人は、「他の人とは違っているが、決して劣っているわけではない。」という言葉です。映画の最後の場面では、全米の自閉症カンファレンスで、自分が自閉症であることを明言して、自閉症としての自分の経験を通して、子育て、しつけ、治療や教育について発言するうちに、その場のみんなから壇上に招かれて話してくれと頼まれ、講壇へと歩いていく途上に、突然白い扉が現れ、その新しい扉を開けて、自閉症の当事者として自閉症の世界を言葉にして伝えていくという「新しい世界へ」と歩みだすところで、この映画は終わっています。ネット上の映画「テンブル・グランディン」のポスターには「自閉症は



彼女に、ヴィジョン(映像)を与えた。彼女はそれに、声(ことば)を与えた。」書かれています。エンドロールには、本当のややいかついが端正なテンブル・グランディのトレードマークとなっているカウボーイ姿でのスナップ写真が流れています。ちなみに彼女は私と同じ生年で同級生でした。

## ご近所 散策



名前は「水族館」、ドアにチェロ!



少し不思議な気持ちでのぞいた喫茶店

名前は、オーナーである花田夫婦の奥様の曾祖父が、明治期に、管崎宮傍らの「箱崎水族館」初代館長をされていたことに由来。当時、潮湯「抱洋閣」もあり、管崎宮の「放生会」など境界は人々が集まる地であったことから、多くの人の楽しめる場になればとの思いで付けられたとのこと。

ご主人はギター、奥様はヴァイオリンを嗜まれる音楽愛好家。入り口のドアにはなんと、チェロの板がはめ込まれています。気楽に音楽を聴いたり演奏したり、楽器の練習やミニライブのほかワークショップや講演会もOK。地域の方が楽しく集うことができる空間です。

オープンして3年。コーヒー、紅茶はもちろん、地産地消とこだわったヘルシーな美味しいランチもあります。

店内には色々な小物も販売され、TOUCHの作業所のスマイルポッケ製品も、置かせていただきました。

### 箱崎水族館喫茶室

福岡市東区箱崎1 - 37 - 21  
TEL・FAX 092 - 986 - 4134  
<http://www.hakosui.net/>  
営業時間 11:30 ~ 18:00  
ライブは、22:00まで  
定休日 火曜日



当時の箱崎水族館



店内の様子

助成、寄付を頂きました皆様、賛助会員の皆様、  
ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます

2011年4月～2012年4月

(順不同・敬称略)

#### 助成・寄付

福岡市地域活動支援センター運営補助金、 トヨタ自動車九州株式会社、  
福岡県共同募金会、 ジャスコ香椎浜店(イオン幸せの黄色いレシート)、海老原俊恵

#### 賛助会員

団体 医療法人望洋会 鮫島病院、 社会福祉法人明日に向かって ワークショップたちばな  
個人

神戸真貴子	秋田園枝	萩原房子	吉田ひとみ	中牟田香子	神戸啓作	前山直子	大藤文子	豊原喜和子
今井美和	尾辻智子	佐原順子	東間一喜	秋根亜希子	江上しのぶ	小泉博	小泉文代	座間味千賀子
三村二六子	樋田勝	斉藤稔晃	中原信明	下山久美子	大西睦子	大神和恵	古賀光江	大澤寛
藤田理恵子	金子博美	鮫島仁彦	鮫島葉子	杉野博子	安東恵子	安東剛	船越勝子	影山奈美子
馬場由紀子	神戸金貴	神戸絹江	神戸勝昇	鮫島卓也	鮫島ハマ	井門正彦	西口智子	内田博昭
荒木美佐保	瀧井登	小西ひとみ	友寄文子	福田多美枝	小園朱見	中園典子	瀧井はる香	小沢明
作道由美子	中西浩子	舟越厚子	松本郁子	白澤文子	海老原俊恵	有賀修	里見哲夫	青柳典夫
猿川京子	猿川隆文	猿川明子	三浦初音	日下部茂	鮫島哲也	鮫島文子	長末広美	山口葉子
古賀孝子	森川進	中島久	小澤勝一	小川正祺	神戸みさ子	高橋司	高橋京子	相川節子
時任イツ子	時任義治	時任義裕	時任キヨ	小林仁	小林みえ子	神戸邦男	山本美智子	相川清治
神戸守雄	神戸修身	緒方俊一	緒方昌子	神戸洋子	神戸貞雄	神戸郁江	濱田尚志	松雪綾子
徳永真由美	小山淳旨	伊波玲子						



皆様の温かいお志は、TOUCHの活動で大切にに使わせていただきます。 ゆうちょ振替口座01790 - 0 - 117757

#### = 編集後記 =

昨年度、諸事情により広報紙の発行が出来ませんでした。大変申し訳ございませんでした。